

林業・木材産業循環成長対策交付金

森林整備事業（公共事業）のほかに、国産材の安定的・持続可能な供給体制の構築を図る観点から、非公共事業である林業・木材産業循環成長対策交付金により、森林整備等への支援を行っています。



趣旨

木材需要に的確に対応できる安定的・持続可能な供給体制の構築のため、木材加工流通施設の整備、路網の整備・機能強化、高性能林業機械の導入、搬出間伐、木造公共建築物等の整備等や、再造林の低コスト化に向けた取組への支援等、森林資源の循環利用確立に向けた取組を総合的に推進します



主な支援対象者

都道府県、市町村、森林整備法人等、選定経営体 等



支援対象となる作業

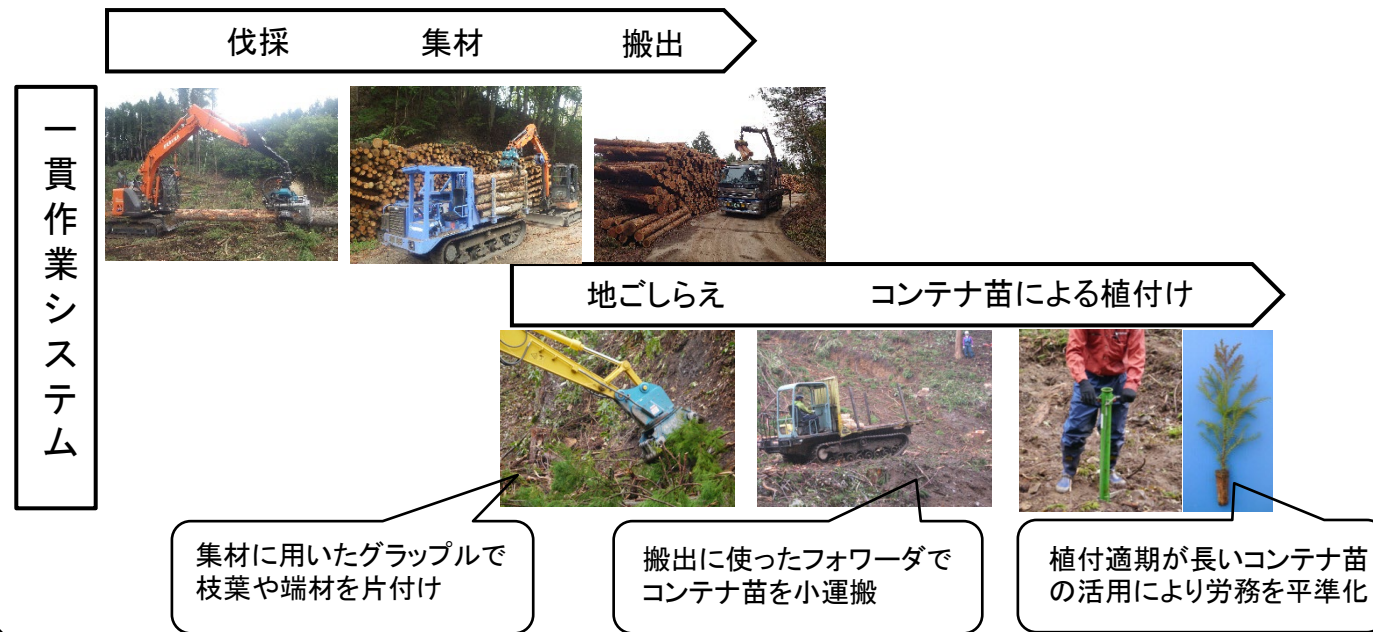
○ 間伐材生産
助成額：定額

○ 低コスト再造林対策
助成額：定額(1/2、2/3以内)
・一貫作業の上限 85.0万円/ha 等

○ 高性能林業機械等の整備
○ コンテナ苗生産基盤施設等の整備
助成額：都道府県へは定額
事業実施主体へは事業費の1/2、1/3以内等

○ 路網整備・機能強化
助成額：定額、1/2以内
・林業専用道(規格相当)の整備の上限 3万5千円/m等
・森林作業道の整備の上限 2千円/m
・林道等の機能強化 事業費の1/2以内
・森林作業道の機能強化 事業費の1/2以内
・林業専用道(規格相当)の復旧 事業費の1/2以内

【伐採と造林の一貫作業のイメージ】



森林づくりの新たな技術や事例の情報

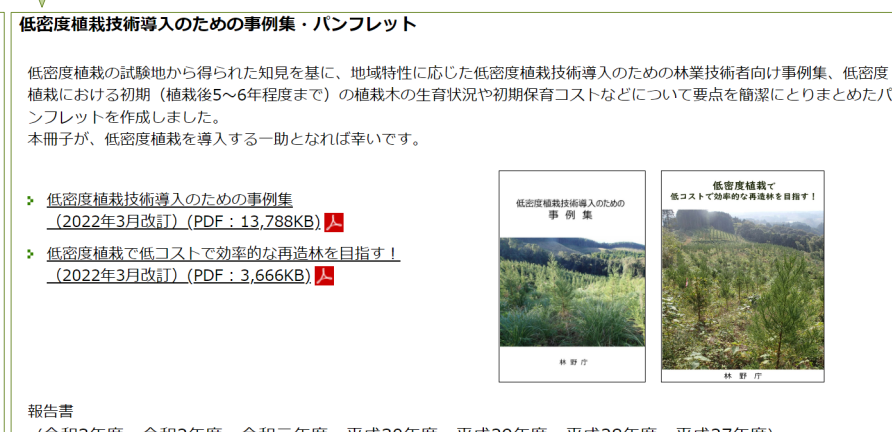
林野庁、森林総合研究所や各都道府県が行った、低コスト造林、苗木の安定供給、下刈りや間伐の省力化に資する新たな技術に関する調査報告書やパンフレット、シンポジウムの資料などを林野庁のウェブページに掲載しています。

また、各地で取り組まれている低コスト造林や事業体の創意工夫についても、事例集を掲載しています。森林整備を効率的・効果的に進める上でご活用いただければ幸いです。



造林関係（植栽）、造林関係（ドローン等）、
種苗関係、間伐・搬出関係の4分野の情報を掲載

低コスト造林・種苗生産等の事例集 低コスト造林・列状間伐・種苗生産の調査報告書やパンフレット



リモートセンシング技術を活用した森林整備事業の申請・検査

森林整備事業の申請・検査に、リモートセンシング等のデータを活用できるようになりました。

○ 申請

施行地での周囲測量などが不要となります。

○ 検査

(1)提出されたオルソ画像等を用いて検査を行います。

(2)施業の実施状況等が確認できる場合、
現地での検査が省略されます。
(施業の実施状況等の確認ができない場合は、
従来どおり現地での検査を行います)



従来測量



オルソ画像による区域確認